

令和6年度第1回 監査機関同士の意見交換 概要

1 開催日時

令和6年6月5日（水）11時30分～12時

2 場所

（公財）東京都スポーツ文化事業団事務局共用会議室

3 出席者

- ・監事 中山 正雄、飯塚 幸子
- ・EY 新日本有限責任監査法人 業務執行社員 小野寺 勝 ほか
- ・デフリンピック準備運営本部監査室 塩田 孝一 ほか

4 概要

監査室から「令和6年度内部監査スケジュール」及び「令和6年度内部監査計画」等について説明し、三者で意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

- ・昨年度の内部監査は、内部統制の制度や規定等の整備状況について確認をしたが、今年度は運用が実際に適切に行われているか確認されたい。
- ・職員数の増加等により、適切なガバナンスの確保がより一層重要となるが、監査による牽制効果が職員の意識改善につながり、不正や事故の抑止力となる。
- ・リスクが高い契約やサービス等の業務については、監査の対象期間を令和6年度の第一四半期までとする。監査の実施にあたっては、必要となる期間を確保されたい。
- ・寄附・協賛は、利益相反との関連性の観点からチェックをする必要がある。
- ・大会実施に向けて、今後、競技団体等との接触などが増加するが、ガバナンスコードの遵守も含め、関係機関との連携を密にし、適切な対応をお願いしたい。

意見交換の結果、

- ・本日いただいた意見はデフリンピック準備運営本部内で共有し、7月から内部監査を実施する。
- ・各監査において気づきや懸念点等があれば共有する。
- ・次回の意見交換は11月に実施予定などを申し合わせた。